



近畿地区初の工科高校としてユネスコスクールに認定されました!!!!

☆ユネスコ・コロゴマークの由来について☆

わが校は、2025/6/16、自持続可能な開発の為の教育推進拠点校になりました。
すなわちユネスコスクール認定されたのです!!! 今更なのですが、【ユネスコスクールとは何ぞや?】私自身も含めて、皆さんと共にしかと確認したいと思います。

ユネスコ憲章前文に「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」とあります。第二次世界大戦の反省(人種差別主義・反ユダヤ主義)から、平和は対話と相互理解、人類の知的及び倫理的連帯の上に築く精神に則り、国際連合教育科学文化機関(ユネスコ)が1946/11/4に誕生したのです。ユネスコ理念を学校現場で実践するために1953年に発足した国際的なネットワーク(Associated Schools Network 略して ASPnet)への加盟が承認された学校を「ユネスコスクール」と日本では位置づけられています。

現在、ユネスコスクールは、日本全国に幼稚園・小中高合わせて1119校(9/22現在HPより)。近畿地区では147校(幼稚園8校・小学校49校・中学校22校・小中高一貫校7校・中高一貫校18校・高校36校・大学2校・その他5校)です。高校36校中、大阪府下の認定校は16校 **工科高校に限ってみると、全国で青森・福井・愛知・福岡・石川、そして、わが校のわずか6校。**これ、快挙ですよ!!

ユネスコスクールの使命は、ユネスコ理念や目的を学校のあらゆる面(組織運営や

【学びの4本柱】

01 知る ことを学ぶ	02 為す ことを学ぶ	03 人間として 生きる ことを学ぶ	04 共に生きる ことを学ぶ
多様な世界の理解に導く。世界の発展のための基礎を作る。	グローバル化する経済や社会において適切な行動を遂げる。市民としての責任と権利を学ぶ。	個人がそれぞれの知識・技能を社会に貢献し、他者と協力し、共に生きる。	個人や社会が平和的に共存できるような社会のあり方を考える。平和と人権の価値を学ぶ。

(UNESCO, 1996. Learning: the treasure within に基づきAOCU作成)

授業、プロジェクト、経営方針等)に位置づけ、児童・生徒の「心の中に平和のとりでを築く」ことを目指し、ユネスコの教育理念『学びの4本柱』を重視することです。これって嬉しい反面、わが校にとりまして、ホンマ責任重大ですよ。(°Д°)

右の写真は、ギリシャ・アテネにあるアクロポリス(高い丘の上の都市)の丘に建つパルテノン神殿。アテネの権力が頂点のBC447年に建設が始まり、BC432年に完成。この建造物は、古代ギリシャ、西洋文明、古典建築の不朽のシンボル。



パルテノン神殿

ロゴマークは、このパルテノン神殿がモチーフ。
知恵の女神アテナを祀るパルテノン神殿は、知性と精神性の象徴。



この点が、ユネスコの理念である「人類の知的・精神的連帯」に合致おり、



神殿正面には「UNESCO」の6文字を「エンタシス状の柱」に配したデザイン。
これがユネスコのロゴに込められた願いです。

古代ギリシャ文明は、BC8世紀頃から最盛期(BC5~BC4)には、都市国家を基盤とした多様な高度な文明でした。民主主義の発展や哲学、文学、美術等の優れた文化は、現代社会の基盤に大きな影響を及ぼしています。一例として
右の写真は、英国のロンドンの大英博物館。



英国・ロンドンの大英博物館



米国・合衆国最高裁判所

左の写真は、米国の DC ワシントンの合衆国最高裁判所。ともにパルテノン神殿の正面と瓜二つですよ。2500 年以上も昔に栄えた古代ギリシャ文明の建造物のパルテノン神殿。そのデザイン性や構造物として完成度が高く、現代まで欧米で模倣され続けてきたと断言しても過言ではありません。

スゴイとしか言葉が出てきません(@_@;)!!

☆ユネスコ学校認定までの図書部のあゆみ☆

2015/4/14 に図書室だより第 1 号を発行。読書啓発活動のため【新刊本の紹介】に読書の必要性、その答えへを先生に直にぶつける【突撃！インタビュー】企画等々、今年で 11 年目を迎えました。

2021/12 (R3) にユネスコ学校加盟申請。2022/4 (R4)、当時の校長先生から依頼を受け、ユネスコの理念・開発目標・国際文化理解等の書籍紹介を中心に据えた図書室だよりの作成を開始。私は、2023 (R5) 城工に入学し、迷うことなく図書部に入部。2023/7 には、ユネスコ学校・キャンディデート校に承認。今年の 6/13、先輩達が目指していたユネスコ学校に認定される。コロナ禍の 2022 年、対面の部活動禁止。先輩 3 人は Chromebook を活用したテレワーク部活。当時 3 人共に E 系 3 年で就職活動の真っ只中。が、夏休みをも返上し図書室だより作成に取組み卒業までに 23 枚発行。今改めて 3 先輩方の図書室だよりを読み返すと、校長先生から託された、その使命感 & 責任感の熱い思いが強烈に文面から溢れています。部員は今、私一人(涙)。先輩方から託された【図書部のバトン】、決して絶やしてはならぬと肝に命じています。今年は戦後 80 年の節目の年です。故に【SDGs 目標 16】平和に特化した「図書室だより」を卒業まで発行し続けます。



邁進さすれば結実す

4 年前の冬 (2021/12)、ユネスコ学校加盟申請から始まったユネスコ学校認定に向けた学校としての取り組み。微力ながらその一翼を担うべく図書部として様々な場面で関わってきました。この年の 6 月【城工オリジナルキャラクター・プロジェクト】を生徒会・城工房・図書部が中心メンバーとなり結成 (第 165 号 2022/6/21 発行)。鴻池在住のパンダ作家・大月かずみ氏の手による【城工キャラクターが誕生】。そのキャラクターを用いた【城工紹介ポスター制作依頼】が校長先生直々にあり、ここから図書部の「目指せユネスコ学校」の第一歩を踏み出しました。第 166 号 (2022/8/29 発行) ではポスター制作からポスター設置までの苦労や工業魂・城工愛等、先輩方の思いが綴られています。城工卒業生で世界的な建築家・安藤忠雄氏の特集記事 (第 167・169・170 号)、第 171 号 (2022/9/27) から SGD's 特集スタートしました。人生を左右する就職試験・体育祭 & 文化祭・課題研究発表・国際交流等と行事満載の多忙な 3 年 2 学期にも関わらず、破竹の勢い、いや鬼のように図書室だよりを月 2 回のペースで 2023/2 の最後の最後まで発行し続け卒業、先輩 3 人のパワーに圧倒されました。2023/4 に入学し図書部に入部。部員は 2 年と私の 2 人だけ。ユネスコや SGD's の事などわからず、戸惑うことだらけ。過去の図書室だよりを最高のお手本とし、ワード操作やレイアウトを先輩・部顧問に教わりながら、一つ一つ実直に学び、自分のものにしてきました。先輩御三方の図書室だよりを何度も目を通して、面識はなくても、先輩御三方と会話している私がそこにいました。「これは、私に託されたバトンだ!!」ユネスコ学校目指して、先輩御三方を超える図書室だよりを完成させたいと決意しました。部活動と勉学との板挟みの悩みや苦労もありました。が、安易に妥協せず高みを目指し続けたことで「文章能力」「表現・語彙力」「思考力」「読解力」が各段に向上し、そして何より「自分に自信がもてる私」がいます。(自画自賛で、スママセン) 努力をすることは決して無駄ではなく、確実に我が武器となる!!!! あと半年後には社会人。諦めず・投げ出さず地道に努力する私で居続けようと思います。「図書部のバトン」に感謝です。

文責: 図書部部長 M3-2 N・Y